学園だより

第254号

発　行
みちのくこども療育センター
みちのく・みどり学園
もりおかこどもクリニック
ことりさわ学園
盛岡市上田字松屋敷11-14
☎（019）662－5696
FAX　662－7185

「あーした天気になーれ！」

みちのく・みどり学園
園長　西山　秀則

今年は、3年ぶりに「第47回種市転住」を行うことができました。「転住」とは、みちのく・みどり学園が虚弱児施設時代から、子どもたちと職員で取り組み、施設が丸ごと地域の人・自然・文化にとけ込むことです。47年間継続してこれたことは、前水上信宏町長様や、地域の皆さんの理解や協力、そして先輩職員方が、地域の皆さんと築いた様々な経緯や歴史があって「地域養護活動」ができるのです。

今年もコロナ禍で「転住」は難しいと思っていましたが、種市在住の前評議委員の下田博美氏から、「コロナ禍で例年通りの交流は難しいが、子どもたちに海上花火を見せてあげたい」と声をかけて頂いて内容を変更して行うことにしました。

事前に種市役所を訪問し岡本正善町長様と役職の方々に御挨拶し、例年とは異なり、「お祭り広場」「交流会」は行わずに1泊2日の日程で行うことをお伝えしました。そして小学生13名と職員6名で、「種市転住」を実施することになりました。

当日は、「マリンサイドスパたねいち」に宿泊し、子どもたちは展望大浴場で「海だ～」と大はしゃぎした後は、海浜公園で花火を見ることが出来ました。初めて間近で海上花火を見た子どもたちは「大きい」「きれいだね」と歓声を上げて喜んでいました。

翌日は、角浜小学校を訪問し、子どもたちが来年の再会を約束しました。その後、江戸ヶ浜に移動しB＆Gのスタッフの皆さんのサポートを受けて、カヌー、バナナボート、海上トランポリンを子どもたちは満喫することができました。

学園で生活する子どもたちにとって、この「転住」の持つ意味は、様々な困難や課題を抱えている子どもたちであればあるほど、地域の方々のお力添えが必要です。これが社会的養護の所以です。それを体現する種市転住は3年の空白を感じさせない転住になりました。「あーした天気になーれ！」。47年前の私たちを迎える地元の声です。

「ともの朗読会」を開催して

ＩＢＣ　岩手放送アナウンサー
奥村　奈穂美

みちのく・みどり学園に初めて伺ったのは2年前。施設の支援を行っている「ハートアライズ」の活動を通して、児童養護施設の現状をテレビで伝えようと取材をさせて頂きました。学園はイメージと違い、ウエルカムな雰囲気！将来子どもたちが仲間入りする地域や社会との関わりを大切にされていると知り、私も何か力になりたいと思いました。

ＩＢＣアナウンス部では、震災後から「ともの朗読会」という活動を行っています。昨年度からは公益財団法人　民間放送教育協会からのサポートを頂き、コロナ禍で様々な機会を失った子どもたちのために「ともの朗読会」を開くことにしました。

さてどこで開催しよう…と上司から相談を受け、真っ先に頭に浮かんだのが「みちのく・みどり学園」でした。

去年10月と今年8月、ＩＢＣアナウンサー複数名で学園に伺い、幼児と小学生低学年の子どもたちに紙芝居や大型絵本の読み聞かせ、手遊びや交流などを行いました。子どもたちの素直さと可愛さに私たちはメロメロ。

「アナウンサーになって最も人気者になれた一日だった」と話すアナウンサーもいます。

絵本の読み聞かせは、映画のような世界を本と声だけで作り出すことができます。聞く人の良い耳と想像力があれば！みちのく・みどり学園の子どもたちはそれらを持っているから、私たちの朗読会を楽しんでくれたのだと思います。

これからもその良い耳と想像力を大切に、社会へ羽ばたいてくれることを願っています。

心鐘

テルミさんからフォトウエディングで撮った写真のメールが届いた。コロナ禍で家族のみの挙式になった。

2年前に「私も2回目の成人式を迎えました。そろそろ結婚をしたい。」とそれを匂わす連絡があった。

彼女と職員の在園中の「格闘」は関わった職員に何故かすぐに具現される。

西和賀町に育った彼女は天真爛漫。それが災いし他者との距離で感情が溢れると大波・小波の嵐がくる。

その度に母が学園から呼び出され介抱にあたる。退園するまでそのことが何度あったろうか。

今であれば母子のケアがもっと丁寧にできたはずだ。

そんな気持ちの繋がりが今でも切れない。だからお互いに「安否確認」が必要なのである。

「園長先生は、お元気ですか。」と地元の私と関わる人を尋ねて聞く。私の健在を聞き、杏の会（愛児会　後援会）に加入したいという。

編集されたフォトメールの動画が送られてきた。

ご両親の「笑顔」がこれまでの全てを物語っていた。

みちのくみどり学園
夏の思い出

若竹ホーム

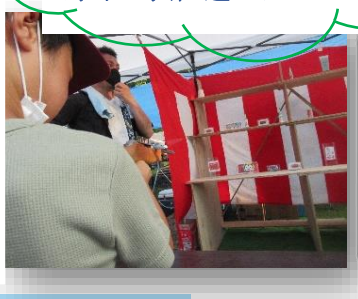
遠野ふるさと村に行ったよ！

やまぼうしホーム

こどもの森のアスレチックで遊んだよ！暑い日はプール遊びもしたよ。

盛合ホーム

夏祭りや花火を楽しんだり、映画に行ったりもしたよ。晴れた日は野球で沢山遊んだよ！



牧草ホーム

ボウリング上手く出来るかな？？

石川ホーム

高校生は調理実習を行い、上手に料理ができました！

村田ホーム

シルバニアファミリー展に行ったよ

ホームの皆でプール遊びやピクニック♪

四つ葉ホーム

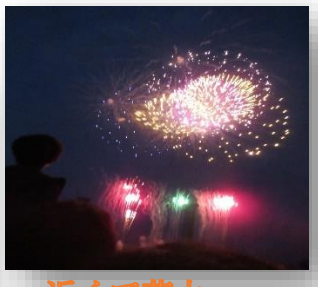
宿直専門員さんのお家でバーベキュー。楽しかったなぁ！

近くの活動センターを借りて皆で交流！

可愛かったよ♪

第４７回　種市転住

７月２４～２５日実施



近くで花火見れました♪

久しぶりの海とっても楽しかったです✨✨

夏のグループ活動

小学生

小学生グループは一関市室根を拠点に活動をしてきました。みどり学園の太鼓グループのホームでもある千恵子山荘を使わせてもらいながら、初めてだらけの活動をすることができました。猊鼻渓で舟下りを満喫した後は、０崎部長のご実家で沢山ごちそうになったり、復興して初めての砂浜で海水浴。初めて登った室根山の頂上は絶景でした。そして、千恵子山荘での風呂焚きや薪割りはもはや生活の一部、そしてかまどで炊いたご飯は最高においしかったです。

（児童指導員　櫻井義久）

女子

ことりさわ学園の中高生女子グループの夏の活動は8月4日から6日の日程で行いました。西和賀の自遊舎に宿泊しながら、湯田農業者トレーニングセンターで中舘太鼓の練習を3日間行いました。最終日には湯田子ども太鼓の指導者である、高橋悟さんに指導を受け、集中しながら練習し何倍も上達することができました。3日間、様々なことを皆で協力しながら楽しく過ごすことができました。

（保育士　千葉奈音）

男子

男子中高生グループは今年の夏も踏破訓練をしました。コースは区界の道の駅から浄土ヶ浜、山田町から釜石大観音までの2つのコースを三日間かけて歩きました。4日目の最終日は釣りを満喫しました。夏の踏破訓練は今年で三年目となります。去年、一昨年に歩き切った経験のある先輩たちが、今年初めて参加する子どもを励ましていました。去年のような宿での大ゲンカや体調不良などのアクシデントはなく、子どもも大人も一丸となって、踏破を達成することができました。

（児童指導員　佐々木優）

ようこそ！
ことりさわ学園へ！

☆新入職員紹介☆

☆名前　大橋あすか　さん
☆出身地　北上
☆趣味　ドライブ
☆得意料理　野菜炒め
☆一言　不慣れなことが多いと思いますが皆さんの力になれるように頑張ります！

社会福祉法人岩手愛児会　令和3年度収支決算書

◇資金収支計算書

（単位：千円）

		予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	859,538	846,357	13,181
	支出	824,237	789,489	34,748
	差額(1)	35,301	56,868	△ 21,567
施設整備等による収支	収入	1,953	1,953	0
	支出	25,457	25,443	14
	差額(2)	△ 23,504	△ 23,490	△ 14
その他活動による収支	収入	700	551	149
	支出	18,530	16,871	1,659
	差額(3)	△ 17,830	△ 16,320	△ 1,510
予備費支出	(4)	3,050	0	3,050
当期資金収支差額合計	(5)＝(1)＋(2)＋(3)－(4)	△ 9,083	17,058	△ 26,141
前期末支払資金残高	(6)	206,185	206,185	0
当期末支払資金残高	(7)＝(8)＋(6)	197,102	223,243	△ 26,141

◇事業活動計算書

（単位：千円）

		当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	841,424	845,964	△ 4,540
	費用	814,249	837,186	△ 22,937
	差額(1)	27,175	8,778	18,397
サービス活動外増減の部	収益	4,933	5,951	△ 1,018
	費用	5,667	6,554	△ 887
	差額(2)	△ 734	△ 603	△ 131
特別増減の部	収益	1,953	18,664	△ 16,711
	費用	8,218	21,274	△ 13,056
	差額(3)	△ 6,265	△ 2,610	△ 3,655
当期活動増減差額	(4)＝(1)＋(2)＋(3)	20,176	5,565	14,611
前期繰越活動増減差額	(5)	384,725	384,160	565
当期末繰越活動増減差額	(6)＝(4)＋(5)	404,901	389,725	15,176
基本金取崩額	(7)	0	0	0
基本金組入額	(8)	0	0	0
その他の積立金取崩額	(9)	0	0	0
その他の積立金積立額	(10)	7,000	5,000	2,000
次期繰越活動増減差額	(11)＝(6)＋(7)－(8)＋(9)－(10)	397,901	384,725	13,176

◇貸借対照表

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	272,039	258,181	13,858
固定資産	986,826	1,024,931	△ 38,105
合計	1,258,865	1,283,112	△ 24,247
負債の部	**当年度末**	**前年度末**	
流動負債	73,266	76,469	△ 3,203
固定負債	245,056	255,996	△ 10,940
基本金	76,866	76,866	0
国庫補助金等特別積立金	367,924	398,205	△ 30,281
その他の積立金	97,850	90,850	7,000
次期繰越収支差額	397,903	384,726	13,177
合計	1,258,865	1,283,112	△ 24,247

つぶやき

学校周辺でキジをたくさんみかけた。毎朝、愛児会旧本館前と学校の巡回をしている彼を調べてみた。彼は結婚する時期になると、ハート型の赤い顔になり鳴きながら彼女を呼ぶのと自分の縄張りを主張する。彼女は縄張り内に巣をつくり、産卵をする。卵を温めているあいだは、じっと身を潜め、外敵の眼を欺く。彼は縄張り内の見回りを続け、野良猫やカラス、アオダイショウなど卵を狙う敵が現れれば素早く威嚇攻撃。自分に注意を引き付けて追い払う。自分よりも強い相手に対してもひるまずに襲い掛かっていく勇ましい彼の姿と敵が来ても決して逃げずに卵を温め続ける彼女。優しさ・愛情・勇敢さの象徴となっている。桃太郎が鬼ヶ島に行く際に家来にしたこともうなづける。

この地域を守ってくれているようでもある。

子どもたちも彼らのように優しく、たくましく育ってもらいたい。そして我々大人は子どもたちに愛情をたっぷりと注ぎたい。子どもたちを育てていく視点を松園地区の自然から学ぶことが多いと感じる。感受性を豊かに学び続けなければいけないとあらためて感じた夏だった。

編集後記

まだまだコロナ収束とはいかない中でも、それぞれのグループで楽しい活動をすることができ、夏の思い出がたくさん作れたようでよかったです。コロナに負けず、頑張って行きましょう（大道）